

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和5年度第2回西脇市介護保険運営協議会
開催日時	令和5年9月7日(木) 午後1時30分～2時30分
開催場所	議会委員会室(市役所2階)
出席委員の氏名 又は人数 (敬称略)	坂本修三、臼井茂樹、久米敏正、齋藤博史、 南久雄、蓮池一晃、廣田よし子、筒井研策、 東口喜樹、下山かよ、伊藤眞知子、松原幸代、 南野美紀、大西幹文 計 14人
欠席委員の氏名 又は人数(敬称略)	藤原 良規 計 1人
出席職員の職・ 氏名又は人数	福祉部長 伊藤景香 長寿福祉課長 藤本祐司 健幸都市推進課長 依藤嘉久 地域包括支援担当課長補佐 笹倉真由美 介護保険担当課長補佐 横山淳子 長寿福祉担当主査 福田有里 にしわき北地域包括支援センター 藤原八穂 にしわき南地域包括支援センター 神部一哉 計 6人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	第9期西脇市高齢者安心プランについて (1) 第9期西脇市高齢者安心プラン骨子案 (2) 地域密着型サービス及び施設サービス等の整備計画 その他

発信者	会議の記録（概要）
会 長	<p>1 あいさつ</p> <p>○開会あいさつ ・委員紹介（前回欠席委員のみ） 本日傍聴の方は1名です。</p> <p>○資料確認</p>
会 長	<p>2 協議事項</p> <p>(1)第9期西脇市高齢者安心プラン骨子案</p> <p>それでは、会議次第に沿っていきますが、その前に議事録署名人は伊藤委員にお願いいたします。それでは、協議事項(1)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>○資料1、2に基づき、各担当より説明</p>
会 長	<p>何かご質問はございますか。</p> <p>西脇市も高齢化が進んで支え手が減り、生産者1人が1人を支えるような時代になってきています。24時間365日の地域の医療資源を確保することは、現実的には難しい。医師や医師会も高齢化していて、24時間だと昼の診療ができない。どことタイアップしていく計画を立てていけば良いのか。お金もかかってくる。そのあたりをどうしていくのか。西脇市の介護保険料が高いのは、サービスが充実しているからです。サービスを充実させるための人材確保をどうするか。外国人労働者の介護人材は、経済的負担が大きい。「国の助成があるので、こんなことをしたら良いのでは」、というものがあればお願いします。フレイル対策が最後のほうに出てきますが、これをこの委員会でするのか、健康づくり推進協議会でするのか。リンクしていると思いますが、どう活動していくのですか。</p>
事務局	<p>健康づくり推進協議会の健康増進計画は、令和6年度に更新予定です。高齢者安心プランが先行している形になります。それから、健康ひょうご21も新たに策定されますので、関連性を十分考えて新たに計画を策定していくこととなります。どちらに記載されるのかについては調整が必要かと思いますが、視点が異なる点がありますので、方針</p>

会 長	<p>としては先ほど述べたこととなります。</p> <p>34、35 ページのあたりに高齢者の疾病状況がありますが、どの世代でも増えてきています。これは西脇市のデータですね。西脇市では 24 時間緊急手術するので、その部分からの加算が入っていると思います。骨折の医療費が高いということですが、骨折は人工関節を入れるので高いのは仕方がないと思います。そのあたりを加味して考えていただかないといけない。脳疾患等を抑えていけば、寝たきりが減るのではないか。健幸推進体操の成果が出て繋がっていけば良い。在宅で生活していくためには、地域で支えることが大切ですが、支える人も高齢化しています。共倒れになってしまうので、できるだけ施設でお願いしたいなと思います。在宅で介護するために離職した人への支援、長期の介護休暇がない。できる地域とできない地域があるかもしれない。</p>
委 員	<p>17 ページのふれあいいいきいきサロンに参加しない理由として「興味がない、または参加する必要がない」という意見が多いです。団塊の世代は個人主義と聞いたことがあります。若い考え方で、さらに参加する方が少なくなるのではないかと思います。いきいきサロンの内容自体を変えていく必要があるのではないかと思います。団塊の世代は個人主義なので、健幸ポイントは良い取り組みだと思っています。そういうものと関連付けできれば良いのではないですか。</p>
事務局	<p>健幸増進推進課から回答いたします。ふれあいいいきいきサロンは、令和 4 年度では 1,238 人の方に参加いただいています。内容については、従前からご指摘いただいております。課題を感じているところです。2 点大きな課題があり、1 点は関心のない方にどう関心を持ってもらうか、もう 1 点は内容の充実です。ちょうど昨日、関西テレビと協働で企画し、回想法シアターを開催しました。落語やゲーム等を通じて介護予防に興味をもってもらうということでした。自己効力感、自分が社会の中で居場所がある、役に立つ、ある意味自信を取り戻すことが大事だと強く感じました。これをきっかけに、今後さらに今の時代にふさわしい内容を引き続き模索していきたいと思います。</p>

<p>会 長</p>	<p>関心のない人に関心を持たせることは、難しいことです。ひとつは、制度としてあるのが、健康アンバサダーで健康について、みんなに声掛けをしていく。それを介護アンバサダーとして介護に関する声掛け、通いの場の情報等を広めていくことが大事だと思います。</p> <p>それと 18 ページにある助け合いも、手伝ってほしい人と手伝いましょうという人のマッチングはどこがするのですか。登録するシステムがあるのですか？</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、生活支援サポーターの養成をしています。要支援認定をお持ちの方に対して、ちょっとしたゴミ出し、買い物代行、話し相手等をボランティアとして手伝っていただく仕組みです。マッチングは、社会福祉協議会に委託しています。</p>
<p>会 長</p>	<p>それは、介護保険を受けないといけないものですね。介護保険を受けていない人にもニーズがあると思います。フレイルを事前に予防することを考えると、介護を受ける前のお手伝いが必要だと思います。軽作業を手伝える人も14%あるわけですから。今のお話だと、介護保険を受けないと生活支援サポートを受けられない。介護保険を受けていなくてもニーズがあれば、そのマッチングをするシステムを作らないといけないと思います。介護保険以外のサービスをやっていかないと、介護保険料がどんどん上がっていきます。シルバー人材センターのような、登録している人と依頼する人のマッチングシステムがあればいいと思います。但し、シルバー人材センターも人材不足のようですが。</p>
<p>事務局</p>	<p>健幸アンバサダーのお話しがありましたので補足いたします。健康アンバサダーについては、筑波大学と内容を精査して、エビデンスがしっかりしたものを発信する活動をしておりましたが、更に内容の充実を図るため大学に要望を出していました。今年度方針が決まり、現在カリキュラムを作成中です。来年度には充実した内容でお届けできると考えています。その中に介護のニュアンスが入ってくるかは未確認ですので、それも踏まえて提案していきます。</p>

<p>会 長</p>	<p>それから、小・中学校に訪問する認知症サポーターがいたと思います。心肺蘇生と同じで、ある程度学年を絞って、毎年学校教育の中でやっていくことは大切だと思います。助け合いの心を養う上で良い教育だと思います。</p> <p>以前は、よく実施していたと思いますが、最近は、依頼がないということで実施されていないと聞いています。非常に残念なことで、実施に向けて検討をお願いしたいと思います。</p> <p>では、次の議題に移ります。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2)地域密着型サービス及び施設サービス等の整備計画 ○資料3に基づき、担当より説明</p>
<p>会 長</p>	<p>何かご質問はありますか。</p> <p>施設に関しては市がつくるわけではないので、事業者が手を挙げないとできない。人材不足で手を挙げてくれる事業者がない。介護人材の育成が課題で毎回それが出てきます。市として介護人材をどのように育成しているのかというところですか。育成する人自体が西脇市にいるのかいないのか、都市部なら学生さんの実習があります。</p> <p>また、看護多機能小規模多機能型居宅介護の整備となりますが、目途はありますか？前は、整備できなかったと思いますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>新たに施設整備を希望されている事業者は今現在ありません。整備については、各事業所に希望の聞き取りをする中で、第9期の間に整備できるように働きかけをしたいと考えています。</p>
<p>会 長</p>	<p>「整備することとします」と確定せず、「することを前向きに進める」や「予定」としたほうが良いのではないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>委 員</p>	<p>会長のおっしゃるとおり、私どもも人材不足になっておりまして、この整備計画も前回の計画からあったと思われます。やはり、看護小規模多機能型居宅介護のほうは、なかなか難しいと思います。市内の事業所が手を挙げてもら</p>

	<p>えれば一番良いとは思いますが、どうしても難しい場合は、市外、県外のものを利用することを検討していかないといけないのかなと思います。</p>
会 長	<p>ここでいろいろやっても、やはり事業所の整備は民間の事業所任せで、県や国が作ってくれるわけではない。今は、人材不足で事業所も撤退する時代です。</p>
	<p>西脇市単独で考えるとすると、一番は、やはり介護予防だと思います。介護にならないように住民の意識をあげる。そうすれば、介護保険料も下がります。</p>
委 員	<p>単純に考えると、介護度を上げないようにしようと思うと、要支援、介護1・2ぐらいの人に何をすることが重要になるのだと思います。アンバサダーもそうですよね。介護度を上げず健康な状態を保つためには、通所リハとか訪問リハ等、本人に負担をかけることが必要となるのではないかと思います。西脇市のリハ職の人材について現状把握されているのでしょうか。不足しているのか充足しているのか。</p>
会 長	<p>訪問リハをしている事業所、作業療法士が少ない状況です。</p>
委 員	<p>大股で歩かせる等、リスクを背負ってリハビリをやっていくと効果があります。専門家でないと出来ないことであると思います。その人材を増やしていくのも大切だと思います。介護度を上げない、重症化させないことを考えると看護小規模多機能型居宅介護以外にも視点を向けて考えていけないような気がします。</p>
会 長	<p>リハビリは、週に4～5回しないとイケません。また、入院中はできても、自宅に戻るとしてくれる人がいない。誰かが声かけをしてくれればよいと思いますが、なかなかそれが難しい。</p>
事務局	<p>健幸都市推進課ですが、先ほど御指摘いただいた点についてお話いたします。まず、健幸ポイント事業はいつまでインセンティブ頼りにしているのか、についてですが、これは、2年間継続すれば運動習慣が身について、インセン</p>

	<p>タイプをなくしてもある程度運動習慣はつくであろうという設計です。1年目は最大6,000円分のポイント、2年目は上限が5,000円になります。この時点で離脱される方はほとんどありません。本来の設計では3年目はインセンティブなしでしたが、利用者にアンケートを取ったところ、やはり少しはほしいとの声はかなりありました。適正かはわかりませんが、予算の関係から2,000円に落としました。かなり離脱されるのではないかと恐れていましたがほとんどなく、運動習慣が身につくつと捉えています。</p> <p>もう1点、早期での介入についてですが、現在介護保険事業からNi-Coに繋いでいる方が数人います。普段の運動習慣はないけど、適切な運動習慣があれば要介護にならなくて済む方を推薦していただいています。まだまだ数は少ないですが、個別対応の枠で対応しています。もちろん、医療機関から接続していただいている方も数人います。</p>
会 長	<p>他にご意見はありますか。</p>
委 員	<p>水害の時等、市から放送がありますが、あれを使ってラジオ体操ができるのではないですか。</p>
事務局	<p>防災無線の行政放送は、最小限に絞っています。長い放送をすると、すぐに苦情がきてしまいます。これは、昔と違って夜間に働いている方等、働き方が多様化してきた事情によるものです。その関係で消防のサイレン等もかなり短くなっています。</p>
会 長	<p>他に何かアイデアやご要望等ありますか。</p> <p>コロナ禍で公民館での体操等がなくなりましたが、今後地域活動を充実させていただければと思います。</p> <p>これで本日の議題は終わりましたが、その他について何かございますか。</p>
事務局	<p>3 その他</p> <p>次回開催（10月12日）の案内</p> <p>それでは本日の協議を終了いたします。</p>

会 長

皆様いろいろご意見ありがとうございました。

閉会